

令和7年度 第1回
社会福祉法人新生会 上北療護園 地域連携推進会議 議事録

1. 日 時 : 令和7年7月10日（木）15：00～16：20
2. 会 場 : 上北療護園 新館
3. 出席者 : 地域連携推進員（利用者）向井慎一
地域連携推進員（利用者家族）小山田まさ子
地域連携推進員（地域関係者）松本 亨
地域連携推進員（福祉に知見のある人）（株）加賀医療器 山端忠美
地域連携推進員（経営に知見のある人）（株）つばさ社福総研 小田秀彦
地域連携推進員（行政の担当者）東北町福祉課 櫻井 学
事務局 森川園長、坂本次長、千葉総務課長、沼辺施設支援課長
4. 次 第 :
 - ① 管理者あいさつ・趣旨説明
 - ② 出席者紹介
 - ③ 施設見学
 - ④ 活動状況の報告
 - ・経理関係について
 - ・虐待防止&苦情解決委員会について
 - ・事業実績&計画について
 - ・当施設の職員の現状について
 - ⑤ 推進員の意見・感想
 - ⑥ その他
5. 開 会 : 坂本次長から第1回地域連携推進会議の開会あいさつがあり、地域連携推進会議の設置が令和7年度から義務となった旨の説明をし、次第に基づき進められた。
6. 議事概要
 - ① 管理者あいさつ・趣旨説明
森川園長から、地域連携推進会議の設置にあたり、各推進員にご承諾をいただいたことに対する御礼の後、地域連携推進会議の概要及び地域連携推進員の手引きについて資料に基づき説明した。
 - ② 出席者紹介
坂本次長から、地域連携推進員6名と事務局4名の紹介をした。
 - ③ 施設見学
施設内を見学いただきながら、森川園長より施設の概要を説明した。

④ 活動状況の報告

- ・経理関係について

坂本次長から、令和6年度の資金収支計算書、事業活動計算書、貸借対照表について説明し、単年度で赤字の原因を説明し、利用者の確保が重要との説明があった。

- ・虐待防止＆苦情解決委員会について

沼辺支援課長から、虐待防止委員会の説明をし、4ヶ月に1回、委員会を開催し、虐待に関する報告を行っています。今まで、虐待の報告がなかったとの報告があった。

苦情解決委員会は、苦情申し込みがあった際、随時開催します。今まで、苦情の報告はありません。また、毎月、利用者とのふれあい会議があり、いろいろな意見が利用者から出されています。その際は、速やかに対応するように努めています。

- ・事業実績＆計画について

沼辺支援課長から、令和6年度事業実績及び令和7年度事業計画の冊子に基づき説明。

特に、事業実績の短期入所が令和元年度のコロナ以降、利用者確保が困難でしたが、ようやく通常どおり運営できるようになりました。また、前年度末の入所者51名から始まり入所者が9名、退所者も5名あり、年度末の入所者は55名で定員の60名にすることはできませんでした。現在は56名となっております。

計画について、利用者は、行事と食事を楽しみにしている、ので、感染対策を行い実施するようにしています。今年度の行事予定表について説明があった。

- ・当施設の職員の現状について

千葉総務課長から、昨年度の退職者は支援員4名、採用者は支援員2名、理学療法士1名、看護師1名採用し、現在の職員数は、理事長を含めて40名です。そのうち、ミャンマーからの特定技能が2名、技能実習生が4名となっております。長年の課題でありました、理学療法士を昨年採用でき、利用者のリハビリテーション計画がスムーズに出来るようになった。

⑤ 推進員の意見・感想

- ・地域連携推進員（行政の担当者）東北町福祉課 櫻井 学から、

数年前にエアコンを設置したと説明を受けましたが、大規模災害になった時の非常電源はどうですかとの質問があつて、発電機が10時間位対応できる旨の回答をした。

- ・地域連携推進員（経営に知見のある人）（株）つばさ社福総研 小田秀彦

新生会さんとは、10年位になると思いますが、安心して数字を見ています。上北療護園の5年と6年度に収入が減っていて赤字になつていて、あかもつ園が支えているような感じになつております。当社では、40社ぐらいの介護施設等も見ておりますが、今まで安心していたA評価の法人も2年続けて赤字というところが多くなつています。人件費の部分とか物価高騰など収入は増えないけれど経費は確実に増えていますので、数字を見ながら経営というところで注意をしながら行っていただきたいと思います。

- ・地域連携推進員（福祉に知見のある人）（株）加賀医療器 山端忠美

今年が初めての地域連携推進会議となりますので、初めは、手探りの部分もあるかと思います。微力ですが協力していきたいと思います。先ほど、電気料金の話がありましたが、いつ切り替えましたかの質問があり、令和5年の10月から東北電力から新電力に切り替えてい

て、法人全体だと約1千万円、上北療護園で400万円位安くなっていると回答した。

・地域連携推進員（地域関係者）松本 亨

私たち利用奉仕会は、上北療護園、あかまつ園、個人で森の郷、老健とかシシルバータウンなど各施設によって、対応が違います。人数によっても違います。周りを見ていても従業員の手が回らないところがあり大変だなーと思います。金額的な事ははわかりませんが、必要な施設であり要望もたくさんあると思いますので経営者も大変だなと思います。出来る範囲で応援していきたいと思います。

・地域連携推進員（利用者家族）小山田まさ子

コロナになってから面会出来なくなりましたよね。もう少し話をしたい。マスクも必要ですがなぜですかと質問があり、病院もそうですけど集団生活をしているので職員もマスクを着用しています。昨年も8月と11月にもコロナの感染があって、終息するのに3週間位かかりました。12月にはインフルエンザの感染があり、こちらも終息に3週間位かかりました。どちらも、利用者が外出して、そこからの感染でした。それが職員からだと思うとまだマスクは外せないと回答をした。現在は面会もできることを伝えました。

・地域連携推進員（利用者）向井慎一

入所して15年目になります。お陰様で快適に過ごしております。理学療法士も採用され、訓練も出来るようになってよかったですと意見があった。

⑥ その他

園長から、貴重なご意見ありがとうございました。人材不足で大変な時期になっていると思います。高齢化、重度化も進んできている。報酬単価も改正され、特養の赤字化も報道になりましたが、利用者の確保が最重要課題だと思っております。引き続きご支援ご協力をお願いします。と一言あった。

6. 閉会 坂本次長から、以上をもって、本日の議事を終了する旨閉会を告げた。

令和7年7月10日

記録 上北療護園 施設支援課長 沼辺順一